

2024年9月12日

各位

会社名 株式会社さくらさくプラス
 代表者名 代表取締役社長 西尾 義隆
 (コード: 7097、東証グロース)
 問合せ先 取締役副社長 中山 隆志
 (TEL. 03-5860-9539)

通期業績予想と実績値との差異（上方）及び特別損失（減損損失） ならびに法人税等調整額（益）の計上に関するお知らせ

当社は、2024年7月期の通期連結業績予想（2024年3月13日公表）と本日公表の実績値に差異（上方）が発生し、また、2024年7月期において特別損失（減損損失）、ならびに法人税等調整額（益）を計上いたしましたのでお知らせいたします。

記

(百万円未満切捨て)

1. 通期連結業績予想と実績値との差異（上方）について

(1) 2024年7月期通期連結業績予想と実績値との差異（2023年8月1日～2024年7月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 17,100	百万円 580	百万円 650	百万円 500	円銭 113.86
実績値 (B)	17,212	775	871	607	137.64
増減額 (B-A)	112	195	221	107	—
増減率 (%)	0.7	33.7	34.0	21.5	—
(ご参考) 前期実績 (2023年7月期)	13,844	314	542	325	72.24

(2) 差異の理由

公定価格の増額を背景とした保育補助金の増額及び地域交流活動を積極的に取り組んだことによる保育サービスの増収等があったことに加え、予定通り不動産（販売用不動産）を売却、その他サービスの収益が概ね見込み通り積み上がったことが寄与し増収したことに加えて、一部内製化による採用経費の削減及び ICT 化による業務効率化をはじめとした各種のコスト削減施策が影響したことにより、営業利益が業績予想を上回りました。また、営業利益が大きく増益した影響により、経常利益並びに当期純利益においても業績予想を上回りました。

2. 特別損失（減損損失）の計上について

・有形固定資産の減損処理による特別損失

当社グループが保有する固定資産について、待機児童の減少等の今後の事業環境等を踏まえ、将来の回収可能性を検討した結果、一部の保育所並びに進学塾について減損処理を実施し、375 百万円を特別損失（減損損失）として計上いたしました。

3. 法人税等調整額（益）の計上の理由

当社は 2024 年 7 月期の実績及び今後の業績動向を総合的に勘案したところ、繰延税金資産の回収可能性に関する会社分類が変更となったため、2024 年 7 月期第 4 四半期会計期間において、繰延税金資産を計上し、法人税等調整額を 362 百万円（益）計上しております

以上